

群 教 セ	G07 - 02
	平 20.240集

児童に適切な消費生活を促す指導の工夫

－ 小学校家庭科の指導資料集

「消費生活！まなぶくん」の開発と活用を通して －

長期研修 研修員 佐野 美幸

（研究の概要）

小学校家庭科の指導資料集「消費生活！まなぶくん」を開発し、「(3)生活に役立つ物の製作」と「(7)物や金銭の使い方と買物」との関連を図った第5学年「選んで！ぬって！使って！楽しい生活」の学習で活用した。授業実践を通して、本研究において開発した提示教材やワークシートなどが、児童に物や金銭の大切さを気付かせる、物の選び方や買い方を考えさせるなど、適切な消費生活を促す指導に有効であることを明らかにした。

キーワード 【家庭 - 小 消費生活 環境 金銭教育 指導資料集 提示教材】

主題設定の理由

近年の社会の急速な変化に伴い、物の使い方や買物のしかたなど人々の消費生活は大きく変わり、多様化している。子どものくらしとお金に関する調査によると、こづかいの平均金額は、年齢とともに増加している。一方で、国民生活センターなどに寄せられる子どもにかかわる消費生活相談件数は、急増している。

新学習指導要領「家庭・技術・家庭」においても、「D身近な消費生活と環境」が新たに位置付けられ、消費生活に関する内容の充実が図られた。

こうしたことから、社会の変化に対応し、自立した消費生活を営むことができるよう、小学校段階からの消費生活にかかわる指導が一層重要となっていると考える。

これまでに家庭科の指導経験がある協力校の教師14名に「(7)物や金銭の使い方と買物」の指導についてアンケートを行った。その結果、他の指導内容に比べて適切な教材・教具が少ない、実践的・体験的な活動を取り入れづらいなどの理由により、指導しにくいと考えている教師が多いことが分かった。

協力校5、6年生172名に「物や金銭の使い方と買物」に関するアンケートを行った結果、多くの児童がこづかいをもらい、物を購入したり、娯楽に使ったりしていることが分かった。また、図1のように、物を購入する時に家族に相談しない、無駄遣いをする、物を購入した後に後悔したと回答した児童も見られた。

この結果から、児童に物や金銭の使い方や買物のしかたなどが十分に身に付いていないこと、ネ

ットショッピングやカタログ販売などが身近なものとなってきたことが分かった。

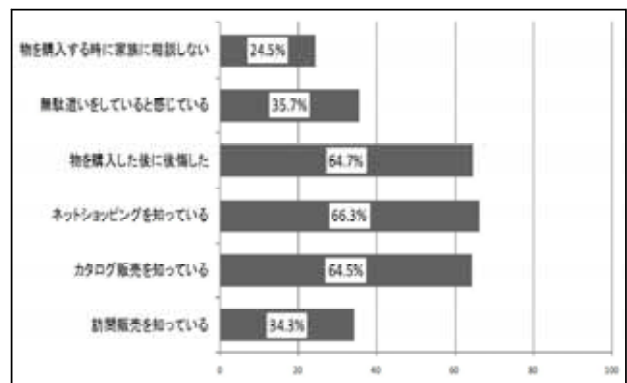


図1 「物や金銭の使い方と買物」に関するアンケート

これらの実態から、「(7)物や金銭の使い方と買物」の指導における課題を次のようにとらえた。

指導上の課題

- ・社会の変化に対応した指導が必要である
- ・指導に適した教材・教具が少ない
- ・実践や体験が取り入れづらい

そこで、児童に適切な消費生活を促すことを目指して、小学校家庭科の「(7)物や金銭の使い方と買物」の指導に役立つ教材を開発していきたいと考え、本研究主題を設定した。

研究のねらい

児童に適切な消費生活を促すために、提示教材やワークシートなどを収録した指導資料集「消費生活！まなぶくん」を開発し、小学校家庭科の授業実践を通して、その有効性を明らかにする。

研究の見通し

<見通し1>

身近な物や金銭に関する教材や環境の内容を取り入れた教材を開発し、実習に使う材料の準備や実習後の振り返りの場面で活用すれば、児童の物や金銭の大切さ、計画的な使い方に関する興味・関心が高まり、知識・理解が定着するであろう。

<見通し2>

身近な物の購入に関する模擬的な体験教材や提示教材を開発し、実習に使う材料の準備や実習後の振り返りの場面で活用すれば、児童の身近な物の選び方や買い方、適切な準備、購入に関する知識・理解が深まり、技能が身に付くであろう。

研究の内容と方法

1 研究の基本的な考え方

本研究では、指導資料集「消費生活！まなぶくん」の開発と活用を通して、「児童に適切な消費生活を促す指導の工夫」に取り組む。教材の開発・活用に当たっては、学習指導要領の改訂により新たに構成された「D身近な消費生活と環境」の内容を踏まえる。そして、児童が社会の変化に対応し、自立した消費生活を営むことができるよう、小学校段階からの消費生活にかかわる指導の一層の充実を目指すこととする。

本研究を通して目指す児童像と指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用による効果を次のようにとらえた。

<目指す児童像>

適切な消費生活を実践できる児童

<「消費生活！まなぶくん」の活用効果>

- ・物や金銭の計画的な使い方に関心をもたせることができる。
- ・身の回りの物や金銭の有効な活用について理解させることができる。
- ・目的に合った物の選び方や買い方について理解させることができる。
- ・目的に合った物を準備、購入する技能を身に付けさせることができる。

指導資料集「消費生活！まなぶくん」の開発に当たっては、小学校家庭科「(7)物や金銭の使い方と買物」の指導上の課題を踏まえ、次のことに留意する。

(1) 社会の変化に対応した教材の開発

社会の変化に対応した内容、新学習指導要領への移行を踏まえ、新たな消費生活の場面や環境にかかわる内容を取り入れて作成する。

物の購入方法の多様化や身近な消費者トラブルへの対応などについて、児童に分かりやすく指導できるように教材化していく。

環境に配慮した消費生活の工夫を考えさせることができるように、物の生産、不用品の活用、循環型社会、環境にかかわる地域の取組について取り上げ、教材化していく。

(2) 系統性や関連性を踏まえた教材の開発

5、6学年の2学年を通して系統的な指導を実施するとともに、他の指導内容や他教科等との関連を図った指導計画を作成する。

5、6学年の2学年を通して系統的な指導ができるように、年間指導計画や題材例などを作成する。

「(7)物や金銭の使い方と買物」の内容と「(3)生活に役立つ物の製作」や「(5)簡単な調理」などの内容を融合させた指導計画を作成する。

社会科や算数科、生活科など他の教科・領域等との関連を踏まえた内容を取り入れる。

(3) 実践的・体験的な学習活動を支援する教材の開発

児童が実践や体験を共有し、交流しながら、問題解決的な学習活動を進めるときに、実生活の場面を想起させたり、振り返らせたりするための提示教材やワークシートを作成する。

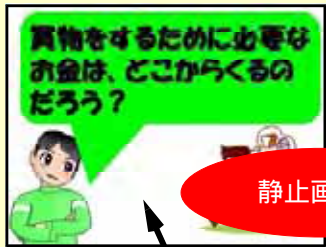
生活と結び付けて学習させることができるように、児童の身の回りの衣食住にかかわる身近な物を取り上げ、教材化する。

児童の興味・関心を高め、思考を促すことができるよう、絵、図表、アニメーションや動画、静止画を取り入れて作成する。


児童に考えをまとめさせたり、発表させたりするなど、意見交流に役立つワークシートを作成する。

2 指導資料集「消費生活！まなぶくん」の構成と主な内容

指導資料集「消費生活！まなぶくん」は、図2のように静止画や動画、アニメーションなどの提示教材、指導計画や展開例、ワークシートで構成しHTML形式で作成した。指導計画、展開例、ワークシートはそのまま活用したり、書き換えて活用したりできるように、PDF形式及びワープロ形式で作成した。




静止画教材



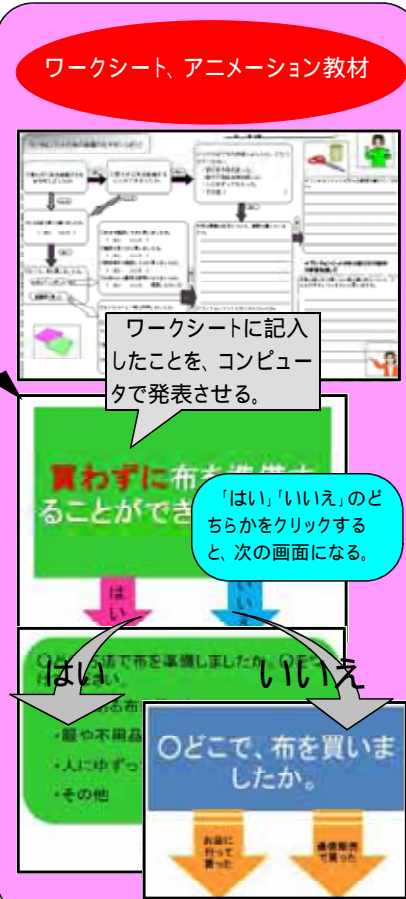
模擬体験教材

教材	指導項目	具体的な内容	作成形式	関連する指導内容
指導資料集「消費生活！まなぶくん」	a 金銭の使い方	a-1 買物するために必要なお金について	静止画	(1) [A]
		a-2 生活に使うお金について	静止画	(1) [A]
		a-3 本当に買う必要があるか考えよう	アニメーション	すべて
		a-4 いろいろな支払い方法を知ろう	静止画	発展
	b 身近な物の選び方	b-1 製作するものに合った布を選ぼう	静止画	(3) [C]
		b-2 どちらの食品を選ぶか考えよう	静止画	(5) [B]
		b-3 地元の食品の良さを考えよう	動画	(5) [B]
		b-4 商品のマークを知ろう	静止画	(3)(5) [B] [C]
	c 買い方	c-1 スーパーマーケットの工夫を見つけよう	動画	(3) [C]
		c-2 通信販売で買ってみよう	アニメーション	発展
		c-3 訪問販売って何だろう	アニメーション	発展
	d 生活の見直し	d-1 身の回りの生活を見直そう	静止画	すべて
		d-2 実習後の振り返りをしよう	アニメーション	(3)(5) [B] [C]
	e 消費者としての権利と責任	e-1 消費者トラブルに気をつけよう	アニメーション	発展
		e-2 消費生活センターの役割を知ろう	静止画	発展
e-3 クーリングオフ制度を知ろう		静止画	発展	
e-4 消費者基本法を知ろう		静止画	発展	
f 身近な物の使い方	f-1 不用品を活用してみよう	動画	(6) [C]	
	f-2 文房具のできるまで	動画	(3)(6) [C]	
	f-3 循環型社会を目指そう	アニメーション	(1) (8) [A] [C]	
g 身近な環境とのかかわり	g-1 放置される粗大ごみについて考えよう	静止画	(6) [C]	
	g-2 環境に関する地域活動を調べよう	静止画	(6) [C]	
	g-3 トレーサビリティって何だろう	静止画	(5) [B] 発展	
指導計画				
展開例			PDF形式	
ワークシート			ワープロ形式	



動画教材

工場働く人の話の動画に加え、インタビューの内容に関連した静止画も取り入れたHTML形式の動画教材



ワークシート、アニメーション教材

ワークシートに記入したことを、コンピュータで発表させる。

「はい」「いいえ」のどちらかをクリックすると、次の画面になる。

「はい」

「いいえ」

○どこで、布を買いましたか。

お店に
行って
買った

通信販売
で買った

図2 指導資料集「消費生活！まなぶくん」の構成と内容の例

(1) 指導計画

児童に適切な消費生活を促すための学習題材を開発し、「(7)物や金銭の使い方と買物」と「(3)生活に役立つ物の製作」や「(5)簡単な調理」などの内容を融合させた指導計画を作成した(図3)。現行及び新学習指導要領との関連と活用する「消費生活!まなぶくん」の提示教材を位置付けて作成した。


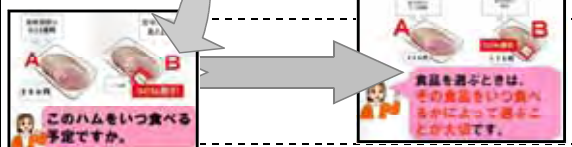

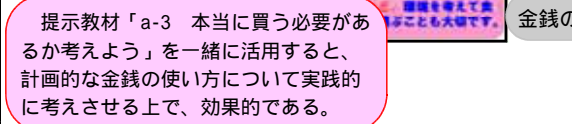
時数	学期	大題材名	小題材名(数字は、指導時数)	現	新	学習内容(数字は、指導時数)	ねらい	現…現行学習指導要領:内容	新…新学習指導要領:内容		
21	2 学期	2 料理 って 楽しい ね! おい しい ね!	1 1日の食事を調べよう			1日の食事を調べよう	・いつ、どんなものを食べているかを振り返り、食生活への興味・関心をもつ。	(7)「物や金銭の使い方と買物」のかかわり			
22			2 簡単な調理をしよう	(5) ア、イ	B(3) ア、イ	調理の計画を立てよう	・調理実習の進め方や大事なポイントを理解する。	・食品の選び方 ・食品を購入するときのお店の選び方 ・本当に買う必要があるかどうかを考えるなどの計画的な金銭の使い方	c-1 スーパーマーケットの工夫を見つけよう a-3 本当に買う必要があるか考えよう		
23											
24											
25											
26											
27											
28					3 なぜ食べるのか考えよう	(4) ア	B(1) ア (2)イ	なぜ食べるのか考えよう	・食品の体内でのおもなはたらきが分かり、食べることの大切さを理解する。 ・家族や友達といっしょに食事をする楽しさを実感し、自ら食生活を工夫しようとする。		
29				3 1 ぐらしの中の布製品を探そう			ぐらしの中の布製品を探そう	・身の回りにどのような布製品があるか調べて、布でできているものに興味・関心をもつ。			
30				2 選んで、楽しくつくってたくさん使おう	(3) ア、イ、ウ (7) ア、イ	C(3) ア、イ、ウ D(1) ア、イ	ランチョンマットの製作計画を立てよう	・できあがったランチョンマットを見ながら、製作計画を立てる。			
31					ランチョンマットに適した布を考え、準備をしよう	・ランチョンマットに適した布を選ぶことができる。 ・布の準備、購入のしかたを考えることができる。 ・布の準備の仕方を通して、計画的な金銭の使い方について理解する。	・製作する物に合った布の選び方 ・買い方の工夫 ・計画的な金銭の使い方	b-1 製作する物に合った布を選ぼう c-2 通信販売で買ってみよう f-1 不用品を活用してみよう			
32											

図3 指導計画の例(第5学年2学期)

(2) 展開例

展開例は、学習の流れに沿って、提示教材やワークシートの活用場面と活用する際の留意点を位置付けて作成した。

提示教材「b-2 どちらの食品を選ぶか考えよう」を活用した展開例

指導内容	(5)簡単な調理(B 日常の食事と調理の基礎)、(7)物や金銭の使い方と買物(D 身近な消費生活と環境)
ねらい	目的に合った品質のよい物を選んで、買い方を考え、適切に購入できるようにする。
活用場面	調理実習の事前学習など
指導資料集「消費生活!まなぶくん」の活用	児童の主な学習活動
 <p>調理実習の前は、何度も繰り返し使える教材である。</p> <p>食品を選ぶポイント</p>	<p>A、Bのハムの違いを見付ける。</p> <p>A…賞味期限がBのハムより長い、値段がBのハムより高い。 B…賞味期限がAのハムより短い、値段がAのハムより安い。</p> <p>A、Bのハムのよさを考える。</p> <p>・Aのハムは新鮮なイメージがある。 ・Aのハムは、長く食べられる。 ・Bのハムの方が、安くすむ。</p>
 <p>賞味期限の意味や値段とのかかわりに気付かせ、環境への配慮なども踏まえた調理で使う材料の選び方や買い方を考える。</p>	賞味期限が切れた食品は、どうなるか考える。
 <p>環境に配慮した食品の選び方</p>	<p>提示教材「b-4 商品のマークを知ろう」を一緒に活用すると、品質表示についての指導もすることができ、目的に合った品質のよい食品の選び方を考えさせる上で、効果的である。</p>
 <p>提示教材「a-3 本当に買う必要があるか考えよう」を一緒に活用すると、計画的な金銭の使い方について実践的に考えさせる上で、効果的である。</p>	<p>金銭の節約を考えた食品の選び方</p> <p>これからどんなことに気を付けて買物をしていくか考える。</p>

提示教材「f-1 不用品を活用してみよう」を活用した展開例

指導内容	(3)生活に役立つ物の製作、(6)住まい方への関心、(8)家庭生活の工夫(「C 快適な衣服と住まい」、(7)物や金銭の使い方と買物(D身近な消費生活と環境)	
ねらい	リサイクルに関心を持ち、不用品の活用方法や不用品を少なくするための工夫を考える。	
活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活に役立つ物の製作」の材料の準備のしかたの学習 ・ごみの始末のしかたや不用品の活用のしかたの学習 	
指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用		<p>児童の主な学習活動</p> <p>クイズ形式で、何を活用してリサイクルしているのか考える。</p> <p>活用している部分を提示</p> <p>五つのリサイクル事例があるので、指導時間や活用場面を考えて、提示教材を選択できる。</p>
<p>クイズ形式で、何を活用してリサイクルしているのか考える。</p>	<p>クイズ形式で、何を活用してリサイクルしているのか考える。</p>	
<p>他のリサイクルの例</p> <p>高度なリサイクルの例</p>	<p>不用品を少なくするための工夫を考えたり、製作に使う材料の準備のしかたを考えたりする。</p> <p>家にリサイクルした物があるか考えさせたり、実際に不用品を活用した製作をさせたり、いろいろな学習場面で活用できる。</p>	

(3) ワークシート

学習の流れが分かるフローチャートや学習の振り返りができるチェック項目を位置付けたワークシート、自分の考えを整理して記述できるワークシートを作成した(図4)。提示教材と同じイラストや表現を用いることで、児童の興味・関心や知識・理解を高められるように工夫した。

フローチャート形式のワークシート

チェック項目を位置付けたワークシート

記述式のワークシート

図4 ワークシートの例

研究の展開

1 研究の計画と方法

(1) 授業実践の概要

教科	家庭科
対象	小学校第5学年 56名
題材	「選んで！ぬって！使って！楽しい生活」
実践期間	7日間（平成20年9月22日～10月31日）
実践時数	12時間（6時間×2クラス）
授業者	長期研修員 佐野 美幸

(2) 検証計画

検証の観点	検証の方法	処理・解釈
身近な物や金銭に関する教材や環境の内容を取り入れた教材を開発し、実習に使う材料の準備や実習後の振り返りの場面で活用したことは、児童の物や金銭の大切さ、計画的な使い方に関する興味・関心が高まり、知識・理解が定着する上で有効であったか。	・ワークシート、授業中の発言 ・事前・事後のアンケート	・ワークシートや授業中の発言などにより、判断する。 ・事前・事後のアンケート結果を数量的にとらえ、分析していく。
身近な物の購入に関する模擬的な体験教材や提示教材を開発し、実習に使う材料の準備や実習後の振り返りの場面で活用したことは、児童の身近な物の選び方や買い方、適切な準備、購入に関する知識・理解が深まり、技能が身に付く上で有効であったか。	・ワークシート、授業中の発言 ・事前・事後のアンケート	・ワークシートや授業中の発言などにより、判断する。 ・事前・事後のアンケート結果を数量的にとらえ、分析していく。

(3) 授業実践にかかわる指導計画

時間	ねらい	学習活動	まなぶくん活用
1	・布でできているものに興味・関心をもち、布製品のよさを理解する。	・身の回りにある布製品を調べ、布でできているよさについて話し合う。	
2	・布の種類や特徴を理解し、生活に役立つ物の製作計画を立てることができる。	・布を観察したり、さわったりして、布の特徴を話し合う。 ・製作見本を見て、製作計画を立てる。	
3	・ランチョンマットに適した布の選び方を理解する。	・ランチョンマットに適した布の選び方を考える。	b-1
4	・店舗販売や通信販売のよさや注意点を知り、布の買い方を考えることができる。	・店で買うよさや注意点について、話し合う。 ・通信販売の模擬的な体験を通して、通信販売のよさや注意点を考える。	c-2
5	・身の回りにある物やリサイクルに関心を持ち、ランチョンマットの布の準備のしかたが分かる。	・布を買わずに準備する方法とそのよさを考える。 ・不用品の活用例を見て、本当に布を購入する必要があるかワークシートを用いて考える。	f-1 a-3
6、7	・ミシン縫いの利点やミシンの正しい扱い方を理解する。	・ミシン縫いの利点を考え、ミシンによる直線縫いの練習など、安全にミシンを使う。	
8～11	・ミシン縫いを使ってランチョンマットを製作することができる。	・ランチョンマットを製作する。	
12	・ランチョンマットの製作を振り返り、物の使い方や買いたい物の選び方について、これからの工夫を考える。	・ランチョンマットの製作を振り返り、発表する。 ・ボールペン製造工場の話の聞き、物の使い方や買いたい物の選び方を考える。	d-2 f-2
13	・エプロンに適した布の選び方が分かり、製作計画を立てることができる。	・エプロンに適した布の選び方を考える。	
14～17	・ミシン縫いを使って、エプロンを製作することができる。	・エプロンを製作する。	
18	・エプロンの製作を振り返り、今までの学習を生かした生活の工夫を考える。	・エプロンの製作を振り返り発表する。 ・生活に役立つ物の製作で学習したことを思い出し、生活の中で工夫できそうなことを話し合う。	

6～11時間目及び13～18時間目は、協力校の教諭が行う。

2 授業実践


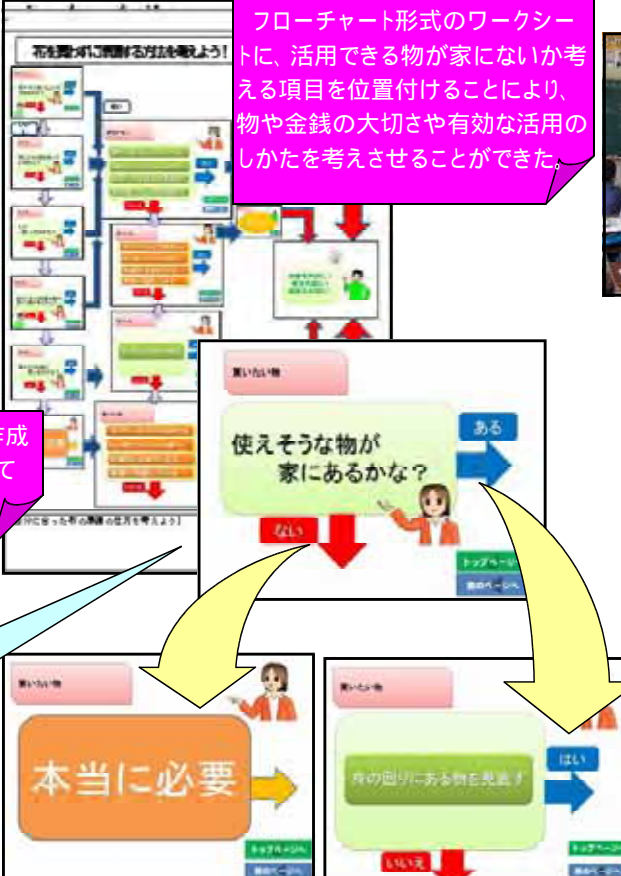

(1) 第4時

ねらい	ランチョンマットの布の準備のしかたを考える活動を通して、店舗販売と通信販売のよさや注意点を知り、布の買い方を考えることができる。
活用した指導資料集	c-2 通信販売で買ってみよう

主な学習活動	指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用場面	児童の反応
<p>ランチョンマットの布を、お店に行き買って買うよさについて考える。</p> <p>通信販売の模擬的な体験活動をする。</p> <p>数名の児童に体験させた。</p> <p>コンピュータの操作が苦手な児童には、支援をした。</p> <p>注文後の場面を見て、通信販売のよさや利用する時に気を付けることを考える。</p> <p>選択した商品によって、通信販売で正しく商品を購入できた例と通信販売による消費者トラブルの例が提示されるようにした。</p> <p>トラブルに巻き込まれないようにするために気を付けることを考えさせた。</p> <p>ランチョンマットの布の買い方を考え、ワークシートに記入する。</p> <p>困ったときは、消費生活センターを利用する方法があることを知らせた。</p>	<p>c-2 通信販売で買ってみよう</p> <p>通信販売のトップ画面</p> <p>エプロンかバッグを買うことを想定し、児童が好きな方を選択して、次の場面へ進む。</p> <p>それぞれの商品の選択画面</p> <p>いくつかの商品の中から、気に入った商品を選択し、次の画面へ進む。</p> <p>購入前の情報入力画面</p> <p>名前、性別、電話番号のみを入力する。児童が簡単に入力できるようになっている。</p> <p>注文後の画面</p> <p>買ったあ！ほしい物が買えたぞ！</p> <p>あれえ！買ったとは違う商品が届いちゃったよ。</p> <p>あれえ！お金を払ったのに、商品がこないよ。</p> <p>あれえ！宛先のない手紙やメールがたくさんくるなあ。</p> <p>どんなことに気をつければよかったのでしょうか。</p> <p>どんなことに気をつければよかったのでしょうか。</p> <p>通信販売等の安心・安全マークの画面</p> <p>通信販売やネットショッピングなどの販売業者による、消費者トラブルを防ぐ取組の例として、安心・安全マークを紹介した。</p>	<p>「お店に行き買って買う良さ」についての児童の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手でさわれる。 ・目で確認できる。 ・分からないことは、お店の人に聞ける。 <p>通信販売の模擬体験では、「名前を入れていいの」「電話番号は入れない方がいいんじゃない」などのアドバイスの声があがった。また、注文した物が実際に届かない例が表示されると、驚きの声や疑問の声が多くの児童から聞かれた。</p> <p>通信販売を利用する時には、商品が届くまでお金を支払わないなど、気を付けることについて、友達と意欲的に話し合う様子が見られた。</p> <p>授業後の感想では、ジャドマークとオンラインマークについて、「通信販売を利用する時の参考にしたい」「通信販売を利用している家族にも知らせたい」などの記述が多く見られた。</p>
<p>【児童の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店の人に聞けるから、お店で買う方がいいです。 ・商品をさわったり、実際に目で見る事ができて安心だからお店で買いたいと思う。 ・インターネットなら家でも買えるので、便利だと思った。 ・通信販売は、便利だけど、気を付けないといけないことがあると思った。 		

(2) 第5時

ねらい	身の回りにある物やリサイクルに関心を持ち、ランチョンマットの布の準備のしかたが分かる。
活用した指導資料集	f-1 不用品を活用してみよう a-3 本当に買う必要があるか考えよう

主な学習活動	指導資料集「消費生活！まなぶくん」の活用場面	児童の反応
<p>ランチョンマットの布を買わずに準備する方法とそのよさを話し合う。</p> <p>不用品の活用のしかたを知る。</p> <p>ワイシャツをランチョンマットにしたり、手さげ袋にしたりするリサイクルの例を静止画で示した。</p>	<p>f-1 不用品を活用してみよう</p> <p>不用品を別の物に作り替えている例をクイズ形式で紹介した。</p>  <p>a-3 本当に買う必要があるか考えよう</p> <p>フローチャート形式のワークシートに、活用できる物が家にないか考える項目を位置付けることにより、物や金銭の大切さや有効な活用のしかたを考えさせることができた。</p> 	<p>「買わずに準備する方法」についての児童の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かにもらう ・家にある布を探す ・着られなくなった服を使う <p>「買わずに準備する方法の良さ」についての児童の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止になる ・環境にやさしい ・お金を使わなくてすむ <p>何をリサイクルしているのに興味をもって考えている姿が見られた。積極的に答える児童も多く、楽しくクイズに参加していた。活用例を見て驚いたり、「やってみたい」と声に出したりする児童もいた。</p>  <p>フローチャート形式のワークシートを活用する場面では、ゲーム感覚で楽しみながら、家に使えそうな布がないか考えている様子がうかがえた。</p> <p>発表する児童は、「ある」「ない」「はい」「いいえ」をクリックしながら、自分の考えを分かりやすく発表していた。</p> <p>発表を聞く児童は、画面に集中して、友達の考えを聞き、自分の取組と比較しながら聞くことができた。</p>
<p>布の準備のしかたについてワークシートのフローチャートを使って考える。</p> <p>購入前の意思決定のフローチャートを用いて、ランチョンマットの布を買う必要があるか考えさせた。</p> <p>ワークシートに基づいて作成したアニメーションを活用して発表させた。</p> <p>「ある」「ない」「はい」「いいえ」をクリックすると、次の画面が表示される。</p>	<p>【児童の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で使えそうな物があったら、店に行かないで、家で準備するけど、家になかったら買う。 ・家にある物を使いたいです。理由は、お金を大事にしたいし、いらぬ服を捨てたくないからです。 ・私だったら、お店へ行って自分の好きな柄、安い、安全な布を買いたいです。 	

結果と考察

1 物や金銭の大切さ、計画的な使い方に関する興味・関心が高まり、知識・理解が定着したか

ランチョンマットの布の準備のしかたを考える際に、不用品を利用したランチョンマットの製作例、布の再利用によりエプロンや洋服を製作した例などを静止画教材で提示した。これにより、布を買わずに準備する方法について考えさせるとともに、不用品の再利用について理解させることができた。児童のワークシートへの記述は以下のようであった。

着られなくなった服は捨てないで、とっておくと再利用できることが分かった。
お父さんが洋服屋なので、布をもらってランチョンマットを作りたい。余った布はごみになってしまうから、少しでもごみを減らしたい。

ランチョンマットの製作の振り返りを通して、これからの消費生活について考える際に、児童にとって身近な物である「ボールペン」の製造に関する動画・静止画教材を提示した。ボールペン工場働く人のインタビューや環境保全にかかわる取組の動画教材、エコマークの静止画教材を提示した。その結果、児童に身の回りの物や金銭の有効な活用について理解させることができた。児童のワークシートへの記述は以下のようであった。

勉強をする前は、まだ使える消しゴムや鉛筆を捨てていた。これからは、物を大切にしたい。
物は買わないで、なるべくリサイクルしていきたい。

児童のワークシートへの記述を見ると、「家の中に布があるか探してから布を買いたい」「不用品を活用してランチョンマットを作ってみよう」という考えを記述した児童が約7割見られた。

このように、提示教材やワークシートを活用し、児童に考えさせたり、相互に話し合わせたりする学習を通して、物や金銭の大切さに気付かせることができた。また、布の再利用のしかたや企業による環境保全への取組など、消費生活にかかわる知識・理解を深めることができた。

図5、6は、授業実践前後の「物や金銭の使い方と買物」に関するアンケートの結果を比較したグラフである。

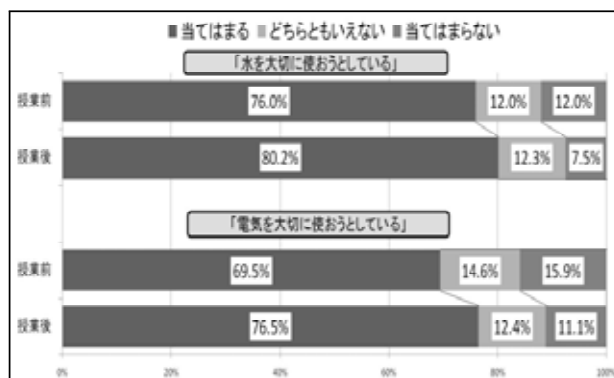


図5 水や電気を大切にしようとしている児童

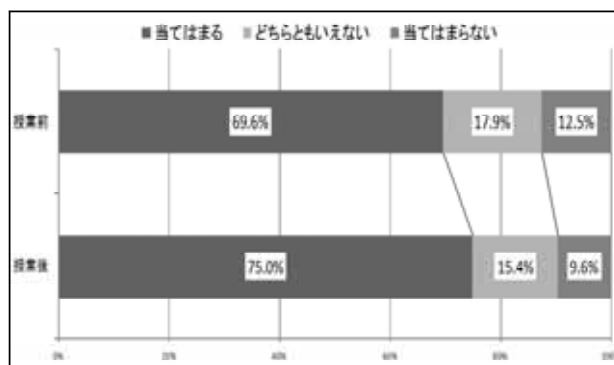


図6 必要かどうかを考えてから買うようにしている児童

この結果から、水や電気を大切にしようとしていると回答した児童はわずかに増加した(図5)。また、物を購入する前に必要かどうかを考えてから買うと回答した児童は、69.6%から75.0%へと増加し、考えずに買うと回答した児童は12.5%から9.6%と減少した(図6)。このことから、生活に必要な物の大切さや計画的な使い方に関する興味・関心が高まったといえる。

以上のことから、指導資料集「消費生活!まなぶくん」を活用した学習を通して、不用品を再利用するなど環境に配慮した生活への関心を高め、身近な不用品の再利用も含め、物を準備、購入する手順を理解させることができたと考える。

2 身近な物の選び方や買い方、適切な準備、購入に関する知識・理解が深まり、技能が身に付いたか

ランチョンマットの布を準備、購入する際に、いろいろな布と組成表示の静止画教材を提示し、ランチョンマットに適した布について考えさせた。これにより、ランチョンマットの布の選び方を理解させることができ、目的に合った物の選び方や買い方の必要性に気付かせることができた。

布の購入方法を検討させる際に、通信販売の模擬体験教材を活用し、店舗販売との違いについて話し合わせた。これにより、通信販売の長所・短所、店舗販売との相違点を考えさせるとともに、通信販売を利用する時の注意点、信頼できる店を選ぶ大切さについて理解させることができた。

ランチョンマットの製作の振り返りをする際に、布の準備、購入のしかたや購入した時に気を付けたことなどを記入できるワークシートを活用した。これにより、購入する前に買う必要性を考えることの大切さ、組成表示やみみなど布に関する基本的な知識を確認させることができた。

ランチョンマット製作後のワークシートの記述を見ると、約7割の児童が布を購入する前に買わずに準備する方法を検討していた。

また、買わずに準備する方法を考えた児童のうち、店で購入した63.0%、買い置きしてあった布を利用した32.0%、エプロンや父親のシャツなどの不用品を利用した5.0%であった(図7)。



図7 買わずに布を準備する方法を検討した児童の内訳

さらに、布を購入した児童の約8割は、布のみみや組成表示を確認しており、目的に合った物を適切に選択し購入することができた。

これらの結果から、児童は、ランチョンマットの布の準備、購入、製作の学習を通して、簡単な表示などを頼りに、目的に合った品質のよい物の選び方や買い方を考え、実践できたといえる。

図8は、授業実践前後の「物や金銭の使い方と買物」に関するアンケートの結果を比較したグラフである。

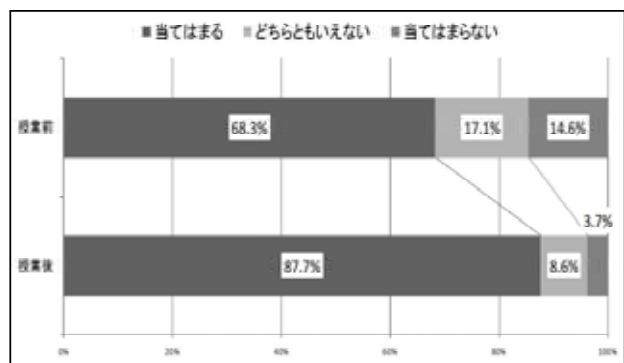


図8 どの商品がよいか考えてから買うようにしている児童

この結果から、どの商品がよいか考えてから買うようにしていると回答した児童は、68.3%から87.7%と実践前に比べ19.4%増加した。あまり考えずに買うは14.6%から3.7%と大きく減少した(図8)。このことから、身近な物の選び方や買い方に関する知識・理解や技能が身に付いたといえる。

以上のことから、指導資料集「消費生活!まなぶくん」を活用した学習を通して、ランチョンマットの布の選び方や買い方を理解させるとともに、適切に準備、購入するなどの技能を身に付けさせることができたと考える。

研究のまとめ

1 成果

身近な消費生活にかかわる提示教材やワークシートなど、物や金銭の大切さや環境に配慮した消費生活への関心を高めるとともに、知識・理解を定着させる上で有効な教材を作成することができた。

新たな消費生活の場面を想定した提示教材や模擬体験教材など、実践的・体験的な学習を通して物の選び方や買い方を理解させるとともに、実践のしかたを身に付けさせる上で有効な教材を作成することができた。

2 課題

児童の考えを生かしたり、深めたりする交流活動を取り入れた展開例、提示教材やワークシートなどをさらに工夫していきたい。

指導資料集「消費生活!まなぶくん」の構成や内容を一層吟味し、使いやすく汎用性のある教材としていきたい。

<参考文献>

- ・金融広報中央委員会 『子どものくらしとお金に関する調査(平成17年度)』(2006)
- ・独立行政法人国民生活センター 『子どもの消費者トラブルの現状と特徴[報告の概要]』(2003)